



佐々木 敏 議員

質問①

旧特別養護老人ホーム 様似ソビラ荘の利活用 の現状について

現在の建物の状態についてお伺いします。

旧様似ソビラ荘は平成2年に建築され、平成11年に一部増築しております。平成23年の東日本大震災の津波の被災や、建築から30年余り経過し、移転後は利用されていないため、電気設備、給排水設備、暖房給湯ボイラーなどの機械設備はほとんど使用不可能となっております。

情報提供、募集、照会件数、説明会等についてお伺いします。

町内事業者での利活用を検討しましたが、具体的な案件がなかったため、全国へ向け情報発信するため



▲ 旧ソビラ荘

ロポーガル方式による募集を行いました。正式な応募はありませんでした。その後、4件の内覧がありました。断念されております。

今後の計画についてお伺いします。

将来的に借用させていたたくかもしれないとの相談はありますが、具体的には進んでおりません。町が直営で行うことは将来において多額の経費を伴うことが想定されることにより、民間の管理運営を前提として利活用できればと考えております。

全国でアトリエを探している若手、ベテラン問わず美術・工芸作家さんたち

に自然豊かな様似町に住むことを条件に無償提供し、さらに町民・子供たちと総合学習の交流が出来たら作家さん、町民にとって素晴らしいことと思えますが、どうですか。

そのような形で遊休施設を活用している事例もあり素晴らしいことだと思えますが、現段階では維持管理を直営で行うことは考えておりません。

もし、民間の借り手が見つからず解体になった場合の解体費用はいくらくらいなのかお伺いします。

当時の試算で1億8千万円と記憶しています。

質問②

様似郷土館の 移転について

展示数、総所持点数、保管場所についてお伺いします。

郷土館に展示している資料は2, 147点、総所持点数は3万8, 805点、保管場所は郷土館のほか、幌

満コミュニティセンター体育館の一部をお借りしてしています。

国指定重要文化財蝦夷三官寺等樹院関係については16点を耐火保管庫で保管しています。

郷土館運営審議会がありますが、移転等についての審議はありましたか。また、その顛末についてお伺いします。

郷土館運営審議会では以前より老朽化した施設

検討しており、第2次教育大綱や第9次総合計画において移転や改築を検討することとし、ご理解とご協力をお願いしております。

毎年郷土館を修繕しても現在の郷土館の広さは変わりません。それであれば、広い事務所があり、来場者が休憩できるホールがあり、屋外イベントを開催できる広い駐車場があり、テーマ別に展示可能な部屋もある旧ソビラ



▲ 郷土館展示スペース

荘に移転し、「歴史と芸術パーク」というのはどうでしょうか。

旧ソビラ荘については標高が現施設より低いこと、一度浸水しており貴重な資料の保存にどうか疑問があること、設備・施設の改修に多額の費用がかかることなどを考えると選択順位は低いと捉えています。中長期的に、公共施設の在り方を検討する中で郷土館運営審議会にお諮りしながら取り組んでまいります。学校の中に歴史館や屋外郷土館的なものという考えも持っております。



高村 洋子 議員

質問①

施政方針から

町長の施政方針「健康に」の新型コロナウイルス感染症対策について伺う。

この後においても、先が見通せず社会全体が長期にわたり共存が想定される感染症ウイルス。これまで様似町は感染者をほぼ出していない極めて優秀な自治体であり、これは全ての町民の努力です。今後の方向性と具体策をお示しください。

当町のように感染者が少ない自治体まで感染地域同様の窮屈で不自由な生活を強いられる事に疑問を感じる面もあるが、今のところワクチン情報、接種順位等、国の



方針に従わざるを得ない状況にあり、感染対策においても基本的には国、道が示されたものを実践していく事が求められる。

国はワクチン接種の優先順位を公表したが、ワクチンには性質上副反応、アナフィラキシー等のハイリスクも想定されます。免疫力の弱い高齢者や、特に基礎疾患においては自己申告制である不安をどう解消するのか。

接種対象者に自治体から接種券とお知らせを配布。ワクチンの供給状況、事前予約、相談対応について



コールセンターの専用電話を設置する。ワクチン接種希望者は、郵送された接種券と本人確認できるものを持参する。

ワクチンを接種する、接種しないは「自己判断自己決定」が原理原則であるので、保健センターにお願いしたいのは、小学生等々でも理解できるように分かり易いお知らせで、誰一人も取りこぼさない周知の徹底をお願いいたします。

接種しない「自己判断自己決定」が原理原則であるので、保健センターにお願いしたいのは、小学生等々でも理解できるように分かり易いお知らせで、誰一人も取りこぼさない周知の徹底をお願いいたします。

そして、町長に伺います。今日まで、国方針の1次、2次補正予算にてコロナで疲弊

～様似町ワクチン接種対策室が開設されました～
連絡先 : 0146-36-5565



した経済対策を補てんしてきたが見えない。自治体の裁量として、地域経済を動かす、回復させるためワクチン接種はリスクを危惧し、高齢者、基礎疾患者と共存しつつ生産年齢人口も優先する考えはないのでしょうか。

なかなか難しい問題。もう情報が氾濫している。専門医療に係わる様似町内の医療機関の医師の組織にも相談しながら、一つの方向

性を見出し出していく判断をさせていただく。難しいかもしれませんが、私も含めて高齢者は不要不急を可能な限り守れるのに対し、子どもの感染を想定した場合の保護者、学校教諭、不特定多数の人と接する行政職員、事業担い手経営者等の行動制限は限界があり、希望者を優先する事も意義ある事だと考えます。